



世界の伝統医療で使用されてきた身近なハーブ素材

タンポポ *Dandelion*



タンポポ Dandelion

概要	タンポポの仲間は、肝臓や泌尿器系の疾患治療、健胃、乳汁不足・乳腺炎改善などを目的に、古くから世界各地の伝統医療で使用されてきました。これほど広く用いられてきた植物は貴重であり、身近に存在し、かつ有用であった証と言えます。日本では一般的に根を用いることが多いのですが、欧米や中国では葉や地上部も同様の目的で使用されています。また、日本では在来種のカントウタンポポやカンサイタンポポが主に使用されていましたが、外来種のセイヨウタンポポに浸食され、在来種が減少したり、雑種が生じたりしていることから、現状では区別せずに使用されています。食用としては、あくを抜いた葉や花をおひたしやサラダにし、根は苦みがあり、焙煎するとコーヒーに似た風味があることから、カフェインを含まない代用コーヒーの一種として利用されています。
基原	タンポポ属植物 <i>Taraxacum spp.</i> (キク科)
使用部位	主に根、全草が用いられています。
食薬区分	ホコウエイコン (タンポポの根、根茎)、セイヨウタンポポの根、葉、カントウタンポポの全草は「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) リスト」に掲載
主な成分	taraxasterol, taraxerol, inulinなど
薬理研究	肝疾患、尿路結石、糖尿病、動脈硬化、潰瘍性大腸炎、運動誘発性筋肉痛に対する作用や免疫増強作用などが報告されています。
安全性	AHPA (米国ハーブ製品協会) による分類 クラス2d：胆汁管の障害、重篤な胆嚢炎と腸障害には禁忌 適切に使用すれば安全と考えられますが、胆汁管の障害、重篤な胆嚢炎・腸障害のある方は使用しないでください。

製品ラインナップ (食品原料)

製品名	タンポポエキス末
一般名称	タンポポエキス
最終製品での推奨原料表示名	例) タンポポエキス末 (タンポポエキス、デキストリン)
成分または組成	本品は、タンポポ属植物 <i>Taraxacum spp.</i> (Compositae) の根を水で抽出して製したエキス末デキストリンを含有
形状	エキス末
分類	食品原料
1日最大摂取量	2g
包装単位	1kg、10kg

※本資料は、一般消費者の方に対する情報提供を目的としていません。また特定の商品の効果効能をうたうものではありません。

各種製品に関するお問い合わせは…

天然物を科学し、創意工夫する。
 松浦薬業株式会社

〒466-0054
愛知県名古屋市中区円上町24番21号
E-mail: info@matsuura-gp.co.jp

松浦薬業 原料情報 検索

TEL (052) 883-5151